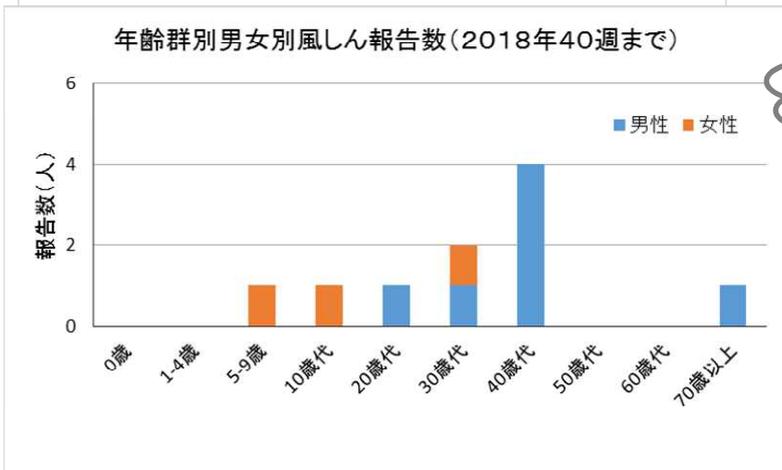


群馬県でも風しん患者の報告が急増しています！

- 群馬県でも、第40週（10月1日～7日）までに届出が10件になりました。
- 地域的には県南部で、男女別では男性7名、女性3名、年齢群では40歳代が最多です。
- 全国的にも、第39週までで952名となり、引き続き首都圏を中心に風しん患者の届出が増加しています。

風しん（40週まで）



◆ 風しんを疑う症状が出たときは

- 風しんの予防接種歴が不明な方、予防接種を2回受けていない方で、発熱や発しんなど風しんを疑う症状があった場合は、必ず受診前に医療機関に電話等で連絡しましょう。
- 医療機関に風しんを疑う旨を伝えた後は、指示に従い受診してください。受診の際はマスクをして、公共交通機関の利用は避けてください。
- 周囲に感染を広げないよう不要な外出は自粛し、妊婦との接触を避けましょう。

◆ 風しんは予防接種で防ぐことができる感染症です

- 定期接種の対象者(1歳、小学校入学前の1年間)は予防接種を確実に受けましょう。
- 30代から50代の男性は風しん抗体価保有率が低い世代と言われています。この世代の人は予防接種についてご検討ください。